

ユーラシアンホットライン

愛川町でサハ共和国ティムの青少年が和太鼓研修し、音楽祭開催

7月26日来日、一週間愛川高校で金子竜太郎氏の指導を受ける

ユーラシアンクラブ・愛川サライの夏の最大イベントの一つ愛川町音楽祭・アジアシルクロード音楽フェスティバル、ロシア連邦サハ共和国の青年太鼓グループ“ティム”を招へいして、元鼓童の和太鼓奏者金子竜太郎氏から和太鼓の研修を受け曲作りに取り組むプログラムが9日間にわたって行われました。プログラム実施に当たって、元神奈川県立高校校長である足立原泰さんを実行委員長に迎え、二回の実行委員会を踏まえて、ティムの到着を待ちました。受け入れ最終場面で宿泊場所が変更となるハプニングもありましたが、歓迎会、翌日からの研修、地域との交流や、受け入れに協力した実行委員会のボランティアスタッフ、ティムを受け容れた県立愛川高校和太鼓部の高校生ややOBOGとの交流を深め、8月3日の音楽祭本番を迎えました。会場となった愛川町農村環境改善センター多目的ホールには、前日愛川中学から借用したパイプ椅子100脚等300脚の椅子を並べ、太鼓や音響機器をセッティングして本番に備えました。当日は、町議会議長や愛川町町議、愛川町行政区分長会長や区長をはじめ多くの方が来場し、「笛と太鼓」をテーマとする、全国的にも例のない音楽祭を楽しみました。

音楽祭は、10年前に誕生した愛川高校和太鼓部のOBOGが結成したユニット「打縁」のデビュー演奏、愛川高校和

太鼓部現役による見事な演奏、一週間の曲作りの成果を発表したティムの演奏、サハ共和国の人民芸術家ハトラエフ夫妻を中心としたオソーハイ（サハ民族精神を表象した曲）、金子竜太郎氏の担ぎ大鼓の演奏などで第一部「太鼓は歌う」を演出、第二部「笛は歌う」では、神奈川県下日蓮宗第三部雅楽部の見事な舞楽の笛の後、ネパールの横笛パンスリ（世界の横笛の起源とされる）の天才パンチャラマとチョウタリ

バンドのプロの演奏、ハトラエフ夫妻の口琴と喉歌によるシベリアンエコーそして最後に全員による合奏で締めくくられました。

今年で4回目を迎える音楽祭は、演奏レベルの高さとユニークさで全国でも例のない音楽祭になっていますが、愛川町での8年に及ぶ活動の成果として、地域の諸団体や有志との深いつながりが生まれ、

今回は足立原泰さんを実行委員長にお迎えしてさらに地域との絆が広がりました。

催しを継続して開催する為にはさらに工夫が必要な状況で、実施の時期、場所、実施の態勢、出演者、関係機関、団体との調整が必須であり、今後10月12日に予定されている第3回モンゴルフェスティバル終了後直ちに準備に取り組むこととしたい。

第4回愛川町音楽祭、ティム招へいによる和太鼓研修でお世話になった多くの方々に心より感謝申し上げます。





＜バイオマス産業社会ネットワーク (BIN) 第 128 回研究会のご案内＞

日 時：2013 年 9 月 25 日 (水) 15:00~17:00

テーマ：「各地に広がる薪の宅配ビジネス (仮題)」

講演者：木平英一氏 (株式会社ディーエルディー)

会 場：地球環境パートナーシッププラザ

(東京都渋谷区神宮前 5-53-70 国連大学 1F)

地下鉄表参道駅より徒歩 5 分・JR 他渋谷駅より徒歩 10 分

<http://www.geoc.jp/access>

参加費：BIN 会員 無料、一般 1,000 円

※長野県で薪ストーブ販売を行っている DLD 社は、薪ストーブユーザー向けに薪の宅配サービスを行っています。材の購入、薪への加工、配達で地域に雇用をつくり、長野県から山梨県、宮城県へと未利用材、特に針葉樹の間伐材の需要を拡大してきました。

※2012 年-13 年の冬期には、利用原木量で 2500m³、乾燥薪で 1200 トンを販売し、約 50 名の雇用 (アルバイトを含む) を生み出しました。また、福祉施設へ薪生産委託することで、障害者の雇用にもつながっています。

※第 128 回研究会では、新たな薪宅配ビジネスの詳細と可能性について、DLD 社バイオエネルギー事業部の木平英一氏に、お話をうかがいます。

※参加者の皆様とともに、地域の木質バイオマスの今後の利用拡大に向けて活発な議論ができれば、大変幸いです。

※参加をご希望される方は、下記よりお申し込みください。

<http://www.npobin.net/apply/>

【マレーシア通信】第 17 号

ペナンのインド文化

板坂 優一

● 板坂 優一：1983 年生まれ。北海道出身。2009 年の冬からバックパックとギターを背負って中国からシリアまでアジア横断の旅へ。そこで見た『イスラムの世界』に魅せられ、現在マレーシアのペナンにてアジアの文化、特にイスラム圏について宗教、社会などの勉強をしている。

現在のマレーシアのインド人 (印僑) はマレーシアがイギリス領土時代の出稼ぎ労働者達の子孫だ。現在、マレーシアの三大人種のうちのインド人はその中でも一番割合が低く、全マレーシア人口の約 10% しかいない。しかし彼らの存在感は大きい。様々な文化が混ざり合う中で、オリエンタルな雰囲気かつ、妖しく、色鮮やかでパワフルな文化はマレーシアの中でも一際目立つ存在であり、また地元住民の生活にも溶けこんで居ようだ。

歴史的にはイスラムの流入以前のマレーシア然り東南アジアはヒンドゥーや仏教文化の影響を受けていたようだ。マレーシアやインドネシアではインドとの交流が盛んに行われ、言語や宗教等に大きな影響を与えていた。アラブやペルシアでの航海術の発展に伴い、14 世紀頃にはインドを中継する海のシルクロードを通り、イスラム商人達と東、東南アジアの交易を盛んに行われるようになっていた。この頃イスラム商人達によりイスラムが東南アジアに伝えられ、マレー人のイスラムへの改宗者が増るに連れてヒンドゥーは色褪せていった。インド系が本格的にマレーシアにやってきたのはイギリス領時代で、ペナンではプランテーションや錫の採掘等の労働者として働いていたようだ。彼らはマレーシアだけでなくシンガポールにも定住し、現在に至る。ペナンにもインド人が住んでいるが州全体の 9% 程しか居ない。しかしジョージタウン内には『リトル・インドア』と呼ばれるインド人街があり、そこにはいつも多くのインド人や観光客で賑わっている。そしてヒンドゥーの祝



日にはいつも以上に露店が並び、どこからこんなにインド人がやって来るのかと思うくらい町中はインド人でごった返しになる。

ペナンで見るインド文化の印象はとにかく『元気』だ。リトル・インドアに行くとき CD 屋からは本場直輸入のインディアンミュージックが爆音でガンガン流れている。そして色鮮やかなサリー屋やギラギラ光るアクセサリー屋、インド雑貨屋、露店やカフェ、レス

トランでどれも視線を奪われるような店ばかり。その中でも人気なのはインディアンレストランで、インド人だけでなく、マレー系や華人、また観光客も訪れる。マレーシアではカレーはポピュラーな食べ物で、マレー、中華料理にも有るくらいだ。なのでカレーに対する敷居が低いのかどうか分からないが、インド料理は比較的人種に関わらず食べられる。面白いことにインディアンレストランの殆どは『ママストア (またはママショップ)』と言われる、インディアンムスリム (ママッ) が経営している店だ。なので必然的にインディアンレストランはハラールであり、ムスリムも食べることが出来る。

毎日の生活の中でインド文化は人種や宗教関わらずいろんな所で見受けられる。マレー語は多くのインド由来の単語が

使われているし、香辛料を効かせた食材、料理も沢山ある。以前紹介したヒンドゥーの祭り『タイプーサム』では人種に関わらず多くの人がココナツ割りに参加している。またヘナ（手や足に書く花等の植物の絵）も女性に大人気だ。私自

身も気がつくとかレーばかり食べたがっている自分に驚いてしまう。ご飯にカレーが掛かっていないと何か物足りない、そんな感じで私の生活もインド文化に侵食されている。

【インド通信】 15 号

ケーララのキリスト教徒 1

佐藤友美

[1986 年生。幼少期をオーストラリアとシンガポールで、10 代は埼玉県で過ごす。オーストラリア国立大学でサンスクリット語と日本語言語学を学ぶが、優等学位のために書いた論文は津田梅子に関するものだった。その後東京外国語大学の博士課程前期に入学するも、現在休学してインド・ケーララ州で日本語教師として企業勤務。現在の主な関心はケーララ芸能。]

ケーララ映画には、神話をダイレクトに扱った類の「神様もの」はあまりありません。ただ、また別の「神様もの」と呼んでよい物語のパターンがあります。それは、物語のキーパーソンが、最後の最後に「実は神様の化身でした」ということが判明する、というもの。物語中に存在する、誰かの名前や姿を借りて状況を良い方向へと導き、終盤で本当の本人の登場により、それまでにいた人物が人ならぬ者であったと気づかされるのです。

これ自体は、ヒンドゥーの神話や説話のある種のパターンに則っていると言ってもよいでしょう。興味深いのは、これがヒンドゥーだけでなく、キリスト教徒に取材した話でも採用されること。聖人が誰かの姿を借りて降臨する、というわけです。イスラム教の話では今のところ聞いたことがありませんが、こちらはさすがに、教義を考えると厳しいのだと考えられます。

インド全体、あるいはキリスト教全体に言えることなのかは分かりませんが、ケーララのキリスト教では、聖人の存在がとても大きく、よく「〇〇聖人のお祭り」という旗を見かけたり、聞いたりします。教会の名前も、聖人の名を冠しているものが非常に多いです。よく見かける、馬を駆る騎士の像は誰なのかと思っていたら、竜退治で有名なゲオルギオス

とのこと。東方系の教会でも、見た目はポルトガルの影響を受けた騎士の姿であるというところが、ケーララらしい。

映画の話に戻ると、上記のような「神様もの」の展開は、メシア願望、あるいは「信じる者は救われる」という感覚の反映であるように見えます。これは神への愛と献身を旨とする、ヒンドゥーのバクティ信仰の説話にも見られるシナリオです。このような形でのキリスト聖人の理解は、日本仏教で、菩薩たちが八百万の神々と同じように受け入れられたことをも思わせる一方、素朴なキリスト教の、特に東方の信仰というのは、どこでもこんなものなのかもしれない、などとも想像させます。

特筆すべきは、どの宗教であれ、このような映画の展開を受け入れる土壌が、人々にあるということ。「神様の化身」というアイコンは、明らかに特別な存在である「スーパー・ヒーロー」のまた別の表現とも言えそうです。ただ、スーパーなヒーローはその輝きや痛快さで観客を魅了しますが、「神様の化身」は、比較的弱い存在である人間でも、誠実に神を忘れず生きていれば神様は見えてくださるのだという、励ましと一種の癒しを与えてくれるのでしょうか。そしてその抛り所となるのは、宗教があって当たり前前の生活なのでしょう。

メディア・ユーラシア情報 ネットリサーチ

東京外国語大学「日本語で読む中東メディア」が注目 <http://www.tufs.ac.jp/common/prmeis/fs/> です。

【北アジア(含むロシア)】

● フーチン大統領、化学兵器使用としてシリア軍非難は愚行

31.08.2013, 21:59

フーチン大統領は、シリア軍が反体制派との戦いで優勢であるときに、化学兵器を使用したと断定し、シリア政府を非難する人の主張は馬鹿げていると語った。31日、大統領は記者団に対し声明を表し、シリア政府は化学兵器を使用しておらず、これは扇動であり、使用の事実を裏付ける証拠は極秘であるという言及は批判に耐えうるものではないとし、次のように述べている。

「健全な思考をすれば明白だろう。シリア政府軍は優勢にた

っており、いくつかの地域では反体制派を囲んでもいる。この条件下で、しきりに軍事介入を呼びかけている者らに切り札を与えることは途方もなく馬鹿げた話だ。しかも国連の査察団が到着するというその日に。」

「このため私は、これは紛争に他国を引き込もうとし、国際活動の強力な参加者、何よりもまず米国側からの支持を取り付けたいとする者らが仕掛けた扇動以外の何物でもないと確信している。」

「われわれの友人である米国の態度に関していえば、米国はシリア政府軍が大量破壊兵器、この場合化学兵器を使用したと

確信し、その証拠をつかんでいると語っているが、ならばその証拠を国連の監査官や安保理に提出させればよい。」

「米国はこの証拠をつかんでいるが、それは極秘であり、誰にも提出することはできないという言い分は批判に耐えるものではない。これは単に自国のパートナーら、国際活動のほかの参加者に対する尊敬の念を欠いている。」

「仮に証拠があるならば、それは提出されねばならない。提出されぬのであれば、そういったものはないのだ。何の証拠もない、なんらかの交渉の情報をとらえたなどという話は、主権国家に対し武力を行使するというこれだけ重大な決定をとる土台にはなりえない。」

プーチン大統領は、ロシアは首尾一貫し、いかなる大量破壊兵器もその使用には断固として異議を唱える立場をとっていると強調した。これには化学兵器も含まれる。大統領は、仮に国連によってシリアで化学兵器が使用された事実が証拠付けられれば、ロシアは「同様の事態が繰り返されぬための措置の策定に」加わると語っている。プーチン大統領はオバマ大統領をはじめとする国際的なパートナーらに対し、シリア問題を 9 月初めにサンクトペテルブルグで実施される G20 サミットの場で討議するよう提案した。

「私は何よりもまずオバマ大統領に対し、同僚としてではなく、米国大統領としてではなく、一国の首脳としてではなく、

[西アジア]

● シリア内戦の死者数 11 万人超に、うち 6000 人は子ども= 人権団体

2013 年 09 月 2 日 17:06 JST

[ベイルート 1 日 ロイター] - 英国を拠点とする人権団体「シリア人権監視団」は 1 日、シリアでの約 2 年半にわたる内戦状態で 11 万人以上が死亡し、そのうち半数以上は民間人で、少なくとも 5833 人の子どもが含まれていると発表した。

同団体は「2011 年 3 月 18 日に最初の犠牲者がシリア南部ダルアーで確認されてから今年の 8 月末までに 11 万 0371 人が死亡した」との声明を発表。「国際社会が沈黙しているせ

いで、恐ろしいほど多くの人が命を落とした。シリアでの殺りくを終わらせるため、真剣に対処するよう国連の潘基文事務総長と良心ある全ての人に改めて要請する」とした。

今回発表された死者数には、先月 21 日にシリアの首都ダマスカス郊外で発生した化学兵器による攻撃での死者約 500 人も含まれているという。米政府は同攻撃による死者数を 1400 人以上としている。

http://jp.reuters.com/article/jp_mideast/idJPTYE98104Z20130902

[中央アジア]

● シルクロードで露日はライバルとなるか?

31.08.2013, 17:25

9 月 11 - 13 日、トルクメニスタンのベルディムハメドフ大統領が日本を公式訪問する。この訪問で大統領は天皇、首相との会談を行う。訪問の目的は経済協力に関する文書への調印となっている。

ソ連時代、シルクロードが通る中央アジアの地質学者らは大規模な地質学調査を展開した。その結果、豊富な資源が埋蔵されていることがわかった。そのうち採掘が行われたのはほんの一部で、残りは「蓄え」として手をつけられていない。ソ連崩壊後、豊富なエネルギー資源を抱える中央アジアの旧ソ連共和国に先進国の大企業が最小限度のコストで原材料を得ようと突進したのも驚くべきことではない。日本もそのうちの一国だ。

カザフスタンは石油、天然ガス、ウランの豊富な資源を抱えている。2012 年 12 月、カザフスタンと日本の合弁会

ノーベル平和賞受賞者として申し上げたい。」

プーチン大統領は、米国が過去数十年の歴史の中で世界の様々な地域において、いったい幾度軍事紛争の引き金を引いてきたか、思い起こす必要があると語っている。そしてこれがただの 1 度でもいい。問題解決につながったことがあったらどうか? プーチン大統領は特にアフガニスタン、イラクを挙げ、こうした国々は安定に欠き、民主主義もないが、われわれのパートナーはどうやらこれを達成しようとしたらしいと語り、ごく普通の民間の平和も均衡もないままだと強調した。

http://japanese.ruvr.ru/2013_08_31/120545437/

● 化学兵器の一部「ロシア提供」=米国防長官が異例の言及

【ワシントン時事】ヘーゲル米国防長官は 4 日、下院外交委員会の公聴会で、シリアの化学兵器の一部について「ロシアから提供されている」との見方を示した。1980 年代の中央情報局 (CIA) の機密文書などに旧ソ連の支援が指摘されているが、現職国防長官が言及するのは異例。

長官は公聴会で、シリアの化学兵器はどの国から提供されたのかとの質問に「ロシアが提供している。他の国も化学兵器を提供しているし、シリア自身も製造している」と説明した。ロシアは現在も、アサド政権に軍事物資の支援を続けている。

<http://topics.jp.msn.com/world/general/article.aspx?articleid=2050033>

い、恐ろしいほど多くの人が命を落とした。シリアでの殺りくを終わらせるため、真剣に対処するよう国連の潘基文事務総長と良心ある全ての人に改めて要請する」とした。

今回発表された死者数には、先月 21 日にシリアの首都ダマスカス郊外で発生した化学兵器による攻撃での死者約 500 人も含まれているという。米政府は同攻撃による死者数を 1400 人以上としている。

http://jp.reuters.com/article/jp_mideast/idJPTYE98104Z20130902

社 SARECO は希少メタルの生産工場を開設した。トルクメニスタンも天然ガスの巨大な埋蔵量で知られる。ウズベキスタンは天然ガス、石油には事欠かない。このほか、ウズベキスタンには 10 万トンを超すウラン鉱が眠っている。キルギスは金、銅が豊富だ。だが中央アジア諸国の大多数はこうした資源を自力で開発することができない。このためハイテク国日本は資源、経済ポテンシャルの開発と刷新に大きな力となりうる。だが、地理的に遠いこと、海岸へ直接的に出る道がないこと、地元のインフラの遅れがあだとなって、日本との協力は遅々として進んでいない。

モスクワの経済高等学校の専門家、アンドレイ・フェュン氏はこの状況について次のようにコメントしている。

「実際、日本はこの中央アジア地域に非常に積極的に『介入』しようとしている。現時点での関心は経済に集約されているが、その対象は石油ガスではなく、むしろウランと希少メタルだ。これについてはすでにカザフスタンと合意が結ばれてい

る。タジキスタンとは水銀、希少金属の鉱山開発の合意が締結された。トルクメニスタンとも契約が実現されつつある。

エネルギー資源に関しては現時点では日本は中東と取引するほうが利がある。中東からは日本で必要とされる原材料の 3 分の 2 が調達されている。たしかにこの地域で起きていることを考慮すれば、日本はもちろんほかの資源供給先を探している。それにここにはロシアの極東が大きな役割を演じうる。中央アジアは日本にとっては位置的にあまりに不便であり、有用資源の開発、調達は金融上もロジスティクスの上でもリスクを伴う。」

少なくとも近未来では日本は中央アジア諸国を石油、ガスの供給国に代わるものとはみなしていないにもかかわらず、どうやら遠大な計画として、来年 14 年、中央アジア 5 カ国に天然資源開発への財政援助として総額で 7 億ドルを拠出することを決めた。ここにはつまり、中央アジア諸国と自分に「つながとめる」ことで、将来、地域の巨大な資源へのコントロール権を主張する狙いがあるのではないか。

モスクワの経済高等学校の専門家、アンドレイ・フェュン氏はこの状況についてさらに次のようにコメントしている。

「ここには政治的モチーフもある。中央アジアでは米国、ロシア、中国の勢力が争っている。日本もここでずっと大きな地政学的役割を演じたいと願っている。確かに日本はこうした地政学的な重みを今のところ有していないが、それでも、たとえばこうした国々の経済に投資したり、人道プログラムを行ったり、無償で日本語のコースを開設し、日本へ学生らを招いたり様々なトライを行っている。外務省の役人らを研修に招いたりもしているが、それはこうした招待のあと、共通言語を見つけるのがずっとたやすくなるからだ。つまり、日本はこうした国々で自国なりの長期的プログラムを実現しようとしている。

【東アジア】

● 焦点：世界の対中投資が再び急増、逆風下の日本企業には課題も

2013 年 08 月 30 日 15:48 JST

【東京 30 日 ロイター】 - 世界の対中国直接投資が昨年の落ち込みから回復、再び勢いづいている。尖閣問題という逆風下にある日本も今年上半年は 2 ケタ増となった。

しかし、投資額ではトップにある日本は、伸び率では韓国、米国、ドイツの後塵を拝しており、各国の追い上げは激しい。反日感情に神経を尖らせながらのビジネスを続ける企業もなお多いほか、主戦場となる内陸部への食い込みにも課題を抱えている。

<日中関係悪化でも日本からの投資は 2 ケタ増>

「尖閣問題（による反日暴動）以降途絶えていた日本企業の訪問が再び急増している」――中国内陸部湖北省最大の都市・武漢市の委託を受けて日本企業の誘致窓口となっているシズプロ（大阪府）の興津一夫・武漢事務所長はこう語る。同氏によると、今年 4 月以降の進出案件が 12 件、うち 6 件が具体化した。

今年上期に日本企業が実施した対中投資額は約 50 億ドル。香港を除いたベースでは諸外国中最も多い。前年比では 15%

同時に地元政府らは主に、商業的関心を追求しているというわけだ。」

こうした状況のなかでロシアは中央アジアにおける自国権益を失う恐れはないだろうか？ フェュン氏は、日本はこの地域ではロシアや中国のライバルにはならないとの見方を示している。確かに日本はこれらの国々に投資するための余剰資金をロシアより多く有しており、ロシアと中央アジア諸国間の食い違いに仕掛けていこうとはしているものの、それでも対立を起こすことなどありえない。なぜならば日本にとってはロシアとの関係はあまりにも重要度が高いからだ。

http://japanese.ruvr.ru/2013_08_31/120536059/

● アフガン、テロ頻発で邦人退避 JICA 駐在員

2013 年 7 月 2 日 02:00

【カブール共同】国際協力機構（JICA）が、アフガニスタンでの武装勢力による襲撃やテロの頻発を踏まえ、現地に駐在する日本人の職員・技術協力関係者の大半について一時的な国外退避を始めたことが 1 日、分かった。

アフガニスタンのバミヤンで、JICA の技術協力関係者（右端）と結核プロジェクトを打ち合わせするアフガンの人たちは 2012 年 5 月（共同）

日本は 2001 年から今年 3 月までに総額約 48 億ドル（約 4800 億円）の援助を実施。JICA はインフラ開発や農業開発など日本の支援活動の「顔」として知られ、現地の評価も高い。アフガンの復興支援活動への悪影響は避けられない。

JICA によると、カブールの事務所には所員や技術協力関係者ら計 30 人前後が駐在していたが、2 日までに管理職ら一部を残し出国する。

<http://www.nnn.co.jp/knews/130702/20130702015.html>

増と、尖閣問題があつたにも関わらず、2 ケタ増を示した。

中国問題に詳しいキャノングローバル戦略研究所の瀬口清之・研究主幹も「今年は尖閣問題によって日中関係が過去最悪の状態にあり、直接投資の伸びは昨年と比べて大幅に鈍化するか、または前年の水準を下回るのではないかと考えられていた」と指摘、「前年とはほぼ同じ伸びに達した」と驚きを隠さない。

日本企業の中国現地法人の売上高は決して良い状況ではない。昨年 10—12 月期以来、製造業現地法人では前年比 10% 以上の大幅な減少が続いている。にもかかわらず、中国に投資をしようという進出の勢いは前年を上回っている。

<海外勢も投資再開、7% 台に減速しても手綱緩めず>

しかし、海外勢は日本以上の勢いで投資を再開している。韓国は 19 億ドルと規模はまだ日本に及ばないながらも伸び率は 50%。米国は 20%、ドイツは 40% など、日本を大きく上回る。

昨年は世界経済が減速した影響もあり、世界の対中直接投資は前年比 4% 近く減少。加えて中国全体の成長率自体は、質の重視への政策転換もあり、従来の 8% から 7.5% へ目標を落としている。

各国が今年になって再び猛烈な勢いで投資を再開したのは、昨年の減速の反動もあるほか、中国消費市場の拡大ペースが他市場の追従を許さないからだ。日本貿易振興機構(JETRO)によれば、2012年1年間の名目のGDP増加額は約7400億ドルとトルコ1国分に匹敵しており、各国の進出企業は市場開拓をさらに強化する方向にある。

<主戦場の内陸部、小売業の進出活発化>

各国の中国ビジネスにとって、主戦場となっているのは成長率の高い内陸部。沿岸部の成長率が7%を割るほど減速している一方で、内陸部では、人口2800万人の重慶を始め、1000万人超の武漢や成都などの大都市が11-13%の成長を続けている。

人件費や不動産価格も沿岸部に比べて安く、労働集約型産業やローエンド製品の生産工程を沿岸部から移転するメリットが大きいと見られている。

日本企業は、内陸部には自動車産業が先んじて進出している。しかも投資は勢いが衰えておらず、ホンダ(7267.T: 株価, ニュース, レポート)は 昨年武漢で第2工場が稼働、スズキ(7269.T: 株価, ニュース, レポート)は重慶に第2工場を建設中だ。

注目すべき変化は、中国を消費地として開拓する動きが加速していることだ。四川省成都を中心に小売業の進出ラッシュが始まっている。食料品スーパーでは、フランスのカルフルが店舗数で圧倒的なシェアを持つが、日本の小売業も沿岸部から内陸部へと歩を進めつつある。

最近、日本企業の誘致に力を入れ始めているのが武漢市だ。ここでも流通業や小売業の進出が勢いづいてきた。昨年ユニクロが6店舗展開、無印良品を3店舗など相次いでオープンさせた良品計画(7453.T: 株価, ニュース, レポート)では「東京都に匹敵する人口を擁する都市として、現状の店舗数はまだ拡大余地が大きい」とみている。2014年はイオン(8267.T: 株価, ニュース, レポート)も武漢に中国内陸部初出店の計画だ。

<反日感情で神経質に、地元との連携不可欠>

ただ、日本企業の間には、尖閣問題をめぐる反日暴動の後遺症があり、いまだに思い切った宣伝活動もままならないというハンディを抱えている。

内陸部への販売網展開による成功例と言われるダイキン工業(6367.T: 株価, ニュース, レポート)でも、中国関連事業への取材受付やPRを避けているほか、日本企業であることを前面に出さないような販売方法を模索する企業もある。

また内陸部市場を沿岸部とはビジネス環境が異なることもあり、進出には慎重さもうかがえる。

内陸部攻略の難しさについて、セブンイレブン・ジャパン(3382.T: 株価, ニュース, レポート)では「まず物流に欠かせないインフラ整備が沿岸部に比べて遅れている。また、顧客ニ

ーズの把握や流通オペレーション、物流工場など、販売網構築のための見極めが難しい」と(広報)という。進出実現には、現地企業との連携により、情報やマーケティングが欠かせないとしている。同社では今後新たに重慶で展開するにあたり、三井物産、地元食品企業と提携した。

JETROは、中国での販路拡大には良いパートナーと連携することが成功のカギだと指摘する。また、売上をさらに拡大するためには、進出日系企業のみならず、非日系外資系企業や中国地場企業にも販売を強化していくことが必要だと指摘している。

瀬口氏も、内陸部の販路拡大でうまくいっていない日本企業も多いと指摘。情報の獲得には中国人の活用が欠かせないと指摘。日本企業の多く採っている事業部制からエリア制に移行、中国人トップを据えて現地化をはかっていること重要だとみている。(ロイターニュース 中川泉 編集 北松克朗)

<http://jp.reuters.com/article/jpchina/idJPTYE97T05R20130830?pageNumber=1&virtualBrandChannel=0>

● 米中国防相がペンタゴンで会議、軍事関係の強化で合意

2013年 08月 20日 08:16 JST

[ワシントン 19日 ロイター] - 米国と中国は19日、より安定的な関係構築に向けた取り組みの一環として軍事交流と軍事演習を拡充することで合意した。

ヘーゲル米国防長官と中国の常万全国防相がワシントン郊外の米国防総省で会談し、年内の米政府高官による中国訪問や、ソマリア沖での海賊掃討演習、ハワイ沖での救助訓練などの計画を明らかにした。

米国と中国は、サイバーセキュリティの問題や東アジアの領有権争いで生じている緊張を緩和する建設的な手段を模索している。

ヘーゲル長官は、米中関係の強化に向け、軍同士の「持続的かつ実質的な関係」を構築したいとの意見で常国防相と一致したとしている。

長官は記者会見で「われわれの目標は協力を通じて両国の軍の間に信頼を構築することだ」と指摘した。

常国防相もアジア太平洋地域での米国との協力関係について強調したが、米国が太平洋地域で軍事的な影響力の拡大や同盟国との連携強化を目指していることについて懸念も表明した。

同相は通訳を通じて、こうした軍事活動の拡大は域内の状況にある程度複雑にするとし、この戦略が特定の国を標的とするものでないことを願うと述べた。

また、南シナ海や東シナ海での海洋権益をめぐる争いについては、相手国には言及せず、「われわれの領土、領有権を守る意志と決意を誰も過小評価するべきではない」と強調した。

http://jp.reuters.com/article/jp_cyberattack/idJPTYE97I08F20130819?sp=true

【インターネット】

● NYタイムズやツイッターのサイトに障害、シリア電子軍の犯行か 2013年 08月 29日 08:12 JST

[サンフランシスコ 27日 ロイター] - 米ニューヨーク・タイムズ(NYT.N: 株価, 企業情報, レポート)は、27日午後

同紙のウェブサイト障害が発生したことを明らかにした。ハッカー集団「シリア電子軍」の攻撃を受けたとみられている。このほか、ツイッターやフェイスブックでも一時的に障害が発生した。

ニューヨーク・タイムズの広報担当者は、初期調査では、外部から攻撃を受けた可能性が高いと発表した。障害が数時間にわたったのは同紙のみ。セキュリティ専門家は、障害発生時に、サイト訪問者はシリア電子軍が管理するサーバーにリダイレクトされたとの見方を示した。

同紙サイトの障害は 1 4 日に続き 2 週間で 2 件目。この時はメンテナンス作業に関連した障害だったと考えられている。

一方、フェイスブックの障害は英国のウェブアドレスのみが影響を受けた。ツイッターは、ハッキングを受けて 1 時間半にわたり障害が起きたが、ユーザー情報は流出していないと発表した。

シリアのアサド大統領を支持するハッカーやオンライン活動家の集団であるシリア電子軍は、ニューヨーク・タイムズなどのドメインを管理する豪企業メルボルン IT のシステムに侵入した。シリア電子軍はツイッターで、ツイッターとフェイスブックへの攻撃を行ったと明らかにした。

過去数カ月間、一部メディアはハッカー攻撃の対象となっている。今月はシリア電子軍を名乗る集団が CNN やタイムズ、ワシントン・ポスト関連のサイトを同時にターゲットにした。

オバマ米政権は、シリアの化学兵器使用疑惑を受け、軍事行動に踏み切る用意を整えている。2 1 日未明にダマスカス郊外で発生した攻撃では化学兵器が使用され、数百人が死亡したとみられている。

http://jp.reuters.com/article/jp_cyberattack/idJPTYE97R01A20130828

【地球温暖化】

ハバロフスク周辺のアムール川の水位は昨夜の間に 8 センチ上昇し、本今朝、790 センチとなっている。

現在のところ、ハバロフスク地方では 50 の居住区、約 1700 の住宅、約 2400 の住宅付属地、3700 以上の別荘地、28 の社会福祉施設、16 のエネルギー施設、2 つの自動車用橋梁、17 の道路、4 万 5600 ヘクタールの農地が浸水している。

http://japanese.ruvr.ru/2013_09_01/amu-ru-kouzui-shahsin/

● 今夏は「異常気象」と位置付け

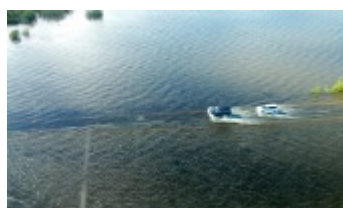
2013 年 09 月 2 日 18:54 JST

専門家らでつくる気象庁の異常気象分析検討会（会長、木本昌秀 東大 大気海洋研究所教授）は 2 日、広い範囲で猛暑となり、地域によって局地的な豪雨や極端な少雨になった今年の夏（6～8 月）について「異常気象だった」と位置付けた。気象庁によると、全国 9 2 7 の観測点のうち 1 2 5 地点で最高気温を更新、1 8 地点でタイ記録となった。高知県四万十市では 8 月 1 2 日、観測史上最高気温の 4 1.0 度に達した。

<http://jp.reuters.com/article/jpnewEnv/idJP2013090201002152>

● ハバロフスク周辺のアムール水位 上がり続ける

1. 09. 2013, 12:09 (120 年ぶりの大氾濫)



発行：特定非営利活動法人ユーラシアンクラブ 発行人：江藤セデカ
住所：〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 1-11-5 TEL：03-5376-9343
支部愛川サライ 〒243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町中津 6314-1
TEL：046-285-4895 FAX：046-265-0167 E-MAIL：paf02266@nifty.ne.jp
郵便振替：00190-7-87777 ユーラシアンクラブ お振込の場合：ゆうちょ銀行〇一丸店 当座預金 0087777 ユーラシアンクラブ 会費、ご寄付はこちらへ。会費は正会員年間 1 口 3,000 円、学生会員 1,000 円、賛同会員 2,000 円。一口以上のご協力をお願い申し上げます。

<http://eurasianclub.org/>

2013 0701 Non Profit Organization Eurasian Club

編集後記：7-8 月のデタイム招聘から 1 0 月 1 2 日の第三回中津川モンゴルフェスティバルの準備への移行と忙しい状態が続いているが、7 年ぶりにロシアに入国した。懐かしいシカチアリャン村の友人たちと出会い、この間に亡くなった家族のような人たちをお参りし感謝と慰霊の気持ちを伝えた。またこれまで信頼していた知人の私物化状態のアパートを訪ね、状況を把握、管理人をシカチアリャン村のビクトリア・ドンカンさんに変更し、鉄扉の鍵二つを交換した。シカチアリャン村には、「シカチアリャン・エコカルチャーセンター友情」という NPO 法人が近く誕生する。村の住民とユーラシアンクラブの交流の拠点として利用されることを願っている (お)